

# 図書館だより

発行

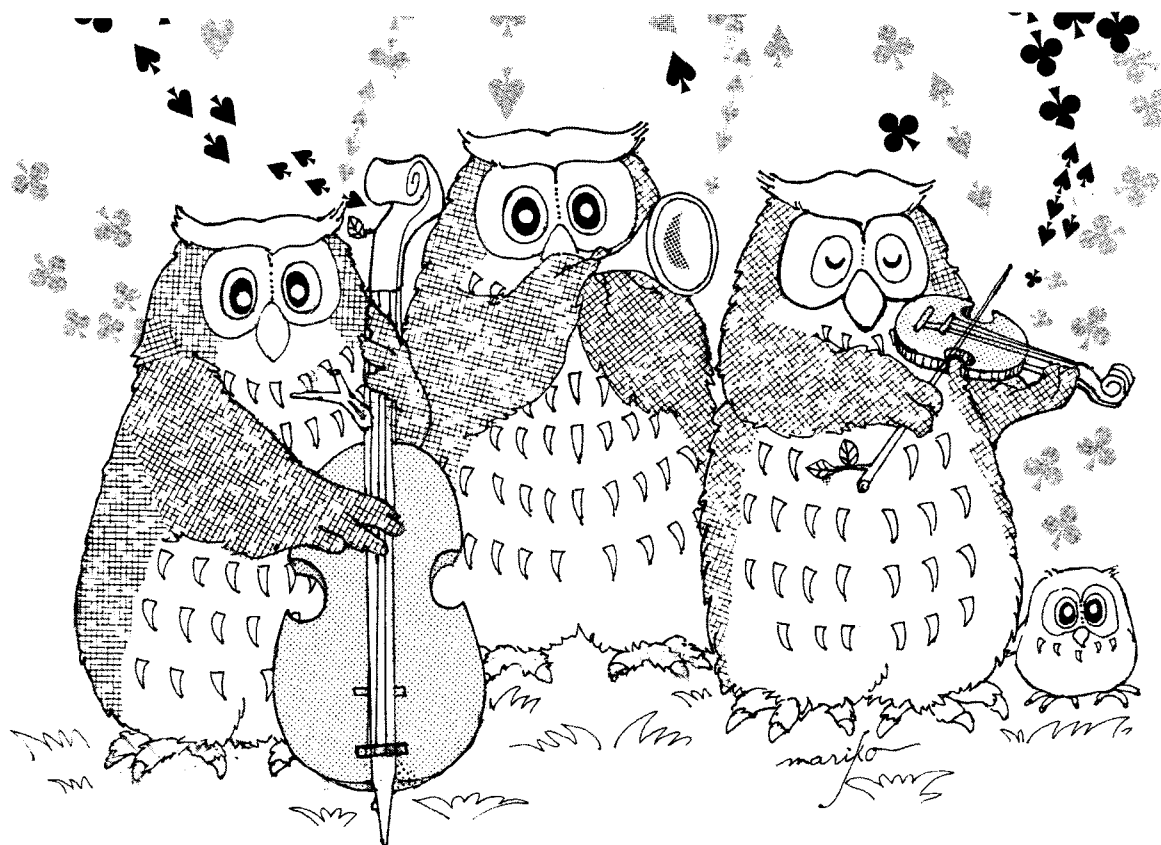
中町図書館

〒679-1133 多可郡中町糺屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<http://www.library.naka.hyogo.jp/>



## 開館一周年を迎えて

中町図書館長 片岡 政子

やわらかな日ざしの中、木々の芽もふくらみ春の訪れを感じるこの頃です。

みな様には、日頃は、何かと図書館運営に深いご理解とあたたかいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。大勢の人々のご協力により、お陰様で開館、一周年を迎えました。蔵書も目標の六万冊にほぼ近づき、利用状況も多い日で約四百名、一日平均百五十名の方が利用されています。丸テーブルでお母さんに本を読んでもらっている子、調べものに夢中の人、カウンターの前では調べたい事、読みたい本について相談している人、こんな姿が見られる館内の一コマです。

図書館では、日常生活に必要な実用書をはじめ、郷土資料、教養、娯楽、趣味、読み物の本など色々な本があります。本ってすばらしいですね。全く知らない世界がのぞけ、色々な人の生き方、考え方を知り、時には悲しくなったり、嬉しくなったり、色々な発見、気づきがいつぱいあるのですから…。一人でも多くの人に本の楽しみを広げていきたいと思っています。

図書館といえば、堅苦しいイメージをもたれる人もあるようですが、情報の拠点であるとともに人と人との楽しい交流の場でもあります。オープン一年、これからが本当の図書館づくりです。くらしに役立つ図書館として、ボランティアグループをはじめ多くのみなさんの力強いご支援をいただきながら、利用者の立場にたった、サービスのゆきとどいた図書館づくりに努めてまいりたいと思います。どうぞお気軽に図書館にお越し下さい。

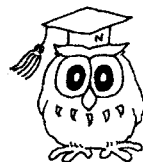
図書館の 昼のひととき 額寄せて

絵本選びの 母と子のあり(政子)

# なんでも質問箱



図書館の利用案内にレファレンスサービスが受けられるとありますが、どのようなサービスなのですか？



レファレンスって一般的にはわかりにくい言葉ですよ。簡単に言えば、利用者の方のこんなことを調べたい、知りたいという学習意欲を図書館員が資料提供という形でお手伝いすることです。「この本はどこに置いてあるの？」から「播州織について知りたいのだけどどんな本を探したらいい？」まで利用者の声にお応えします。お気軽に声をかけてください。



子育ての本を読んでいると「ブックスタート」という言葉が出てきますがどのような意味なのでしょう。また、どのような読み聞かせの方法を教えてください。



赤ちゃんに絵本をプレゼントしようという、イギリスで始まった運動です。中町でも平成14年から絵本と出会う夢いっぱい事業として、出産のお祝いに絵本をプレゼントしています。絵本を通して親と子が心と言葉を通わせるひとつのきっかけになればと願われています。読み聞かせに決まりはありません。心を込めて読んであげてください。

図書館でも毎月第2・4土曜日（3歳以上）にはなし会を開いていますので、ぜひご参加ください。

図書館にパネルシアターの案内チラシがあつたのですが、パネルシアターってどのようなことをするのですか？



ネルのような毛羽立つた布を使い、その布どうしがお互いにくっつきやすいという性質を活かした、貼り絵のお芝居です。おはなしの展開にあわせて布に絵人形を貼り付けたり、動かしたりします。紙芝居や絵本とちがって人形を裏返したり、移動させたりできるので、好奇心旺盛なこどもの想像力がより膨らみます。

図書館のおはなし会で、先日の講習会で出来上がった作品をご披露したいと思いますので、またご覧ください。

図書館の利用者カードや貸出袋に描いてあるイラストの親子の鳥について教えてください。



イラストの鳥はふくろうです。ふくろうは知恵の象徴とされています。そのため本屋さんやほかの図書館でもふくろうをマスコットにしているところがたくさんあります。また、カードや袋の色、本についているバーコードの色は、町木のケヤキをイメージした緑色になっています。

図書館のマスコットには、まだ名前がついていません。みなさんに良い名前をつけて頂こうと思っています。（詳しくは、後日広報でご案内します。）

# ☆☆☆図書館からのおすすめ！！☆☆☆

『野ブタ。をプロデュース』 白岩玄／著 河出書房新社 (Fシラ)



主人公の桐谷修二は自意識が肥大した高校二年生。普段彼は“着ぐるみ”をかぶり人気ものを“演じて”いる。家族や友達とのつきあいもソツなくこなし、誰からも嫌われることのないよう万全を期している。だけどいつもなぜか満たされない。そんな時、「デブ」で「キモイ」転校生、信太がやってきた。さっそくいじめられるようになった信太を、修二は「アイドル」にすべく、プロデュース業に精を出す。信太は修二の言うとおりに行動するうち、少しずつ彼の周囲が変わりはじめる…。読み始めは少し「不快な感じ」がした。友達をプロデュースしてやるなんて、傲慢にもほどがある。だが読み進むうち、彼らとともに行動し、戸惑い、そして笑った。読み終わったあと意外にもすがすがしかったのは何故だろう…。第41回文藝賞受賞作、第132回芥川賞候補作。

『いちねんせい』 谷川俊太郎／詩 和田誠／絵 小学館 (K911 夕)



「がっこうのになわ こうていって いうんだって はしからはしまで はしってみたいいきがはあはあした…」子どもの一年生の入学式で、校長先生がこの「なまえ」という詩を読んで下さり、とても印象に残ったので探したらこの本に出会った。初めて見るもの、聞くことにワクワク・ドキドキの一年生の心を谷川俊太郎の詩と和田誠の絵がみずみずしくうたいあげる。ぜひ、子どもと一緒に声を出して読んでほしい一冊。第37回小学館文学賞受賞。

『一度は見ておきたい 名所の桜』 庄子利男／写真と文 河出書房新社 (291 シ)



一度見てみたいのが名木と呼ばれる桜。樹齢何百年の大桜である。毎年この時期になると「今年は何処へお花見に行こうか」と思いつつ、渋滞は嫌だし、遠いのは困るので、結局播磨中央公園のお気楽花見を楽しんでいる。今年こそ天から降りそそぐ桜を見に、少し遠出をしてみようかと本書を手にとった。表紙の桜の艶やかなこと。本書は全国の桜を紹介しているが、日帰りで行けそうなのは奈良の「又兵衛桜」。NHK大河ドラマ『葵・徳川三代』のオープニングに登場した、樹齢三百年のシダレザクラだ。今年こそ…と思いながら、写真の桜に堪能している。(I)



## 図書館の一年

### オープン一周年を記念し中学生が一日館長

さる3月12日(土)、開館一周年記念事業の中学生による一日館長が実施され、昨年のトライやる・ウィークを図書館で体験した三人が、館長を務めました。清水町長から館長辞令交付を受け、早速窓口でさわやかな笑顔の対応をみせました。この日は、播州織の葉づくりが開かれ、ボランティアの指導を受け作業にもあたりました。最近の本事情から、葉の要望がきかれることから、つくつてみました。播州織の風合いがすてきです。

一日館長を務めた3人は、この日の活動を楽しかったと、語ってくれました。



おはなし会  
毎月第2・4土曜



昔ながらの紙芝居  
3月



かるた大会  
1月



絵本と出会う  
夢いっぱい事業  
11月

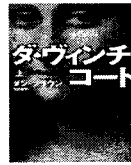
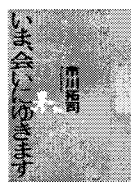
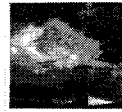


# 中町図書館

# あしあと

## よく読まれた本（一般書）

書名	著者名	回数
蹴りたい背中	綿矢りさ	71
蛇にピアス	金原ひとみ	53
世界の中心で、愛をさけぶ	片山恭一	45
冬のソナタ	キム・ウニ	38
13歳のハローワーク	村上龍	35
いま、会いにゆきます	市川拓司	28
誰か	宮部みゆき	25
ワザあり！100円おかず	主婦の友社	24
号泣する準備はできていた	江國香織	22
半落ち	横山秀夫	20



やはり芥川賞受賞最年少者という話題性もあって綿矢りささん、金原ひとみさんの作品は今現在でも多くの方に読まれています。

その他「世界の中心で…」「いま、会いに…」などは映画化と同時進行しながら貸出回数が増えました。

また、みなさんご存知の「冬のソナタ」はTVドラマから火がつき、そこから韓流ブームが巻き起こりました。そのせいか最近では純愛小説が支持されています。

「13歳のハローワーク」はたくさんの方の職種についてかかれていますので、中高生から大人まで幅広く楽しめる1冊です。ちなみに当館では本を2冊所蔵していて、その内の1冊に著者の直筆サインが入っています。

今回の“よく読まれた本”にはランクインしていませんが最近ではダヴィンチ・コードに人気があつまっています。

## よく読まれた本（えほん）

書名	著者名	回数
ねずみくんのチョッキ	なかえよしを	67
からすのパンやさん	かこさとし	61
ねむいねむいねずみ	ささきまき	59
10ぴきのかえるのおしょうがつ	間所ひさこ	59
ぐりとぐらの1ねんかん	中川李枝子	59
やさいのおなか	きうちかつ	56
ぼちぼちいこか	マイク・セイラー	55



## よく読まれた本（児童書）

書名	著者名	回数
かいけつゾロリのまほうつかいのでし	原ゆたか	68
千と千尋の神隠し	宮崎駿	48
忍たま乱太郎 めいとうかげりゆうの段	尼子騷兵衛	39
デルトラ・クエスト	エミリー・ロッダ	38
もりのアイスクリーム屋さん	ふなざきやすこ	37
魚(さかな) 小学館の図鑑NEO	藍澤正宏	36
ペンギンしょうぼうたい	斉藤洋	34

## よく読まれた本（ヤングアダルト）

書名	著者名	回数
ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団	J. K. ローリング	23
リズム	森絵都	14
空色勾玉	荻原規子	14
少年名探偵虹北恭助の冒険	はやみねかおる	13
エドウィナからの手紙	スーザン・ボナーズ	13
パーティミアス	ジョナサン・ストラウド	13
ドラゴンランス	マーガレット・ワイス	10

## 【サポート・ねっと】が始動

昨年より、図書館ボランティアのありようを協議してきた図書館ボランティアの会が、【サポート・ねっと】の名称で、組織的整備を図り、より積極的なグループ活動を推進することになりました。

会は、①児童サービス②障害者・高齢者サービス③資料提供等④環境美化⑤広報・啓発、の5グループで構成され、会則で「ボランティア活動を通じて中町図書館を応援し、守り育てる」ことを目的にしています。

図書館サービスの提供には、多くの領域がありますので、館運営に多くの支援者の参画が望まれます。

オープン一周年記念イベントでは、早速企画運営に携わりました。

図書館だういすきな皆さん、ボランティア活動に参加しませんか。いつでも申し込みOKです。図書館にどうぞ。



## ふくろうのウインク

公園の桜と共に、図書館にも二度目の春が訪れました。

「光陰矢の如し」まさにそんな一年でした。二月に開館一年を待たずして、貸出総数が十萬冊を超えました。開館時には空気が目立つた書架も、少しはご満足いただけるようになったでしょうか。

振り返れば、いろんな光景が浮かんできます。袋に詰め込んだ本を抱え、汗だくになって坂道を駆け上がつてくる子、のぎくバスに乗ってグループでやってくる元気な子ども達、小さな手で何冊もの絵本を抱えカウンターへやって来る子の笑顔。「晴耕雨読や」と言いながら楽しそうに帰って行かれる後姿。「今は田んぼが忙しいから、ちよつと冊数減らすわ。」「この本おもしろかったで。」返却される本を、お友達に薦めていらつしやるお母さん。

そんな一つ一つが、職員の元気の源です。「図書館できて良かったわ。」何より嬉しいその一言。カウンターでお目にかかれるお顔が増えていくのが楽しみです。

# 図書館だより

発行

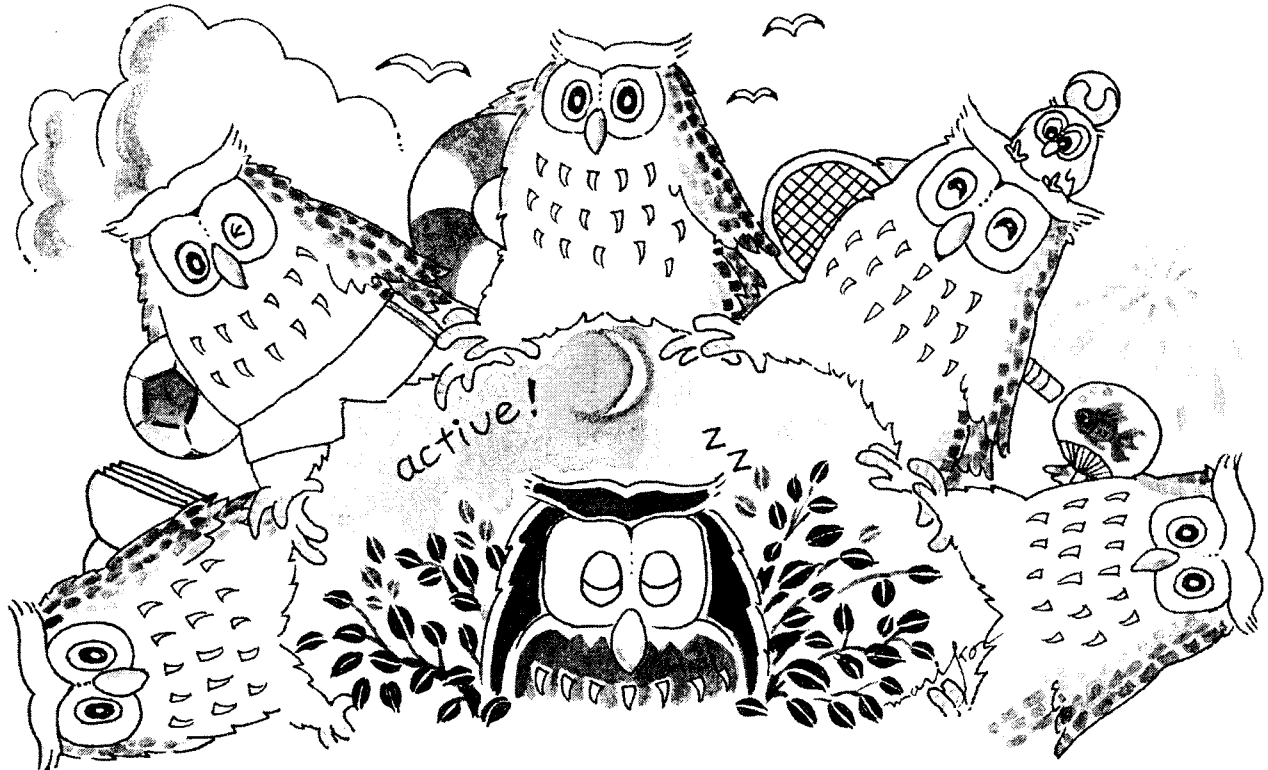
中町図書館

〒679-1133 多可郡中町糺屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<http://www.library.naka.hyogo.jp/>



## 「休暇の想像」

イラストレーター 今 中信 一

中町に帰って来た。五月のゴールデンウィークに帰って来た。「久しぶり」というよりも、昨年未から正月にかけて帰省したばかりの中町にまた帰ってきた。東京とは全く違う文化を持ったこの田舎が好きだ。

今年は例年よりも忙しく感じていて、毎月の締めきりに追われつつ、二月のまだ空気が冷たい季節に、東京の友人のギャラリーで個展を開催したり、三月には広告関連の仕事をこなし、四月には紆余曲折の末、ようやく絵本が発売され、目まぐるしく毎日が過ぎていき、季節が変わった。

連休の時期は、タイミングよく少し時間がとれそうなので、実家でゆつくり本を読んだり、畳の上で仕事とは違う大きな絵を描いたり、そうそう、それから、どんどん大きくなる姪や甥といっしょに、恒例になっているプールに行ったり、料理を作ったり、鮮やかな緑がこぼれ落ちそうになっている山に向って散歩しようと思ひはほとんど膨らんでいった。

帰ってきて、びつくりした。そう、「中町ネットワーク効果」である。あれよあれよという間に、様々な方のおかげで、中町図書館で神戸新聞の取材を受けている自分がいた。そして、その数日後の朝、届いた新聞は笑っていた。福笑い張りの、ビアップの自分の笑顔と絵本が大きく掲載されていた。恐るべし中町のネットワーク。当初、自分の想像していた田舎での休暇は、その想像の範囲を大きく越えた。そして、膨らむ想像はいつも可能性をもたらす。

# なんでも質問箱



図書館には雑誌や新聞が置いてあるそうですが、借りることが出来ますか？また、どんな雑誌があるのですか？



図書館には約80タイトルの雑誌を所蔵しています。

毎月発売の「今日の料理」「主婦の友」「いきいき」「短歌」「スクリーン」といったものから「エコノミスト」「週刊朝日」「関西ウォーカー」といった週刊誌も置いてあります。これらの雑誌は最新号を除いて自由に借りることが出来ます。

新聞は朝日・産経・毎日・読売・日経・神戸と西脇時報の7紙を置いています。

雑誌や新聞は古くなると閉架書庫にバックナンバーとして保存してありますので、見当たらない時はお気軽にお尋ね下さい。

図書館の利用案内にはコピーができると書いてあるけど、なんでもできるのですか？どんな手続きがいりますか？



最近ではコピー機が一般家庭でも普及し、コピーをすること自体が身近なものになっています。

図書館でコピーサービスを受けるには、著作権法第31条の制約があります。簡単に説明すると、資料の一部に限ること。1人1ページにつき1枚に限ること。図書館所蔵の資料に限ることなどです。

細かな制約はありますが、館内でしか見ることでできない資料などには、こういうサービスを受ける利点があるのではないのでしょうか。

複写申込用紙がカウンターに置いてありますのでご記入の上、お申し込み下さい。

※コピーは1枚30円です。

本屋さんでちらっと見かけただけだったり、ラジオなどで聞いただけで、はっきりした書名や著者名がわかりません。そんな時でも本を調べる方法があるのですか？



何通りかの方法がありますが、その一つにホームページの「蔵書検索」という機能を利用するという方法があります。著者名や書名の一部でも検索が可能で、その本が現在、貸出中かどうかといった情報もわかります。また、特定のジャンルの本が知りたいた場合にはキーワードから検索も可能です。

その他、館内にOPAC（オパック）というタッチパネル式の蔵書検索機械もあります。

それでも、見つけれないという場合は図書館員にお尋ね下さい。

図書館の玄関を入った正面にいつも本のテーマ展示をしていますが、どんなふうを選んでいるのですか？今まではどんな特集がされたのですか？



その月や季節、話題になったものを中心に毎月テーマ展示しています。

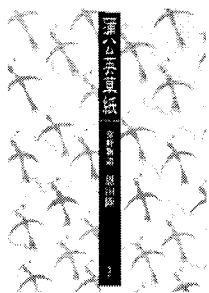
今までは「環境問題」「旅行」「義経」などを特集し、夏休みになると「課題図書」や「スタンプラリー」の本を展示しました。

また、臨時的に韓国特集や入園入学時期にあわせて本のコーナーも設置しました。6月には図書館ボランティアによる掘り起こし本も展示しました。

こんなテーマを特集してほしいという希望がありましたら声をかけて下さいね。

# ☆☆☆図書館から本の紹介！！☆☆☆☆

『蒲公英草紙 常野物語』 恩田 陸／著 集英社 (Fオン)



峰子が綴る日記から、少女時代に体験したことが語られていく。榎村家の敷地近くに住み、年頃も近いという理由から病気がちな榎村家の娘、聡子の遊び相手に選ばれる峰子。お屋敷には書生や画家など様々な客人が生活しており、そこへ不思議な家族が訪れる。彼等は“常野（とこの）”と呼ばれる一族らしいのだが、いったい何者なのか。榎村家で催される“天聴会”や、その会に置かれている“書見台”のもつ力とは。通常では考えられない力や榎村家と常野の関わりが次第に明かされていく。

「自分が幸せであった時期は、その時には分かりません。こうして振り返ってみて初めて、ああ、あの時がそうだったのだと気付くものです。」

物語前半のこの言葉が、この作品を物語っている気がします。(Y)

『プリデイン物語 全5巻』 ロイド・アリグザンダー／著 評論社 (K933 ア)



いなくなった予言する豚を探しに出かけたのが、主人公タランの冒険の始まり。それは死の国の王アローンとの戦いの始まりでもあった。死者から不死身の戦士を作り出す魔法の釜、その釜をタランと仲間たちがアローンの手から運び出そうとする『黒い魔法の釜』。自分の生い立ちを求める旅に出て、さまざまな人とめぐり合う『旅人タラン』。アローンにつく者、善き王子ギディオンにつく者とが総決戦を迎える『新しき王者』。それぞれの物語が織り成すプリデインの壮大なファンタジー。人間にとって大切なものは何か、成長していくタランと共に考えさせられる。(T)

『ビッグイシューと陽気なホームレスの復活戦』 櫛田佳代／著 BKC (368ク)



「ビッグイシュー」という雑誌がある。正式には『THE BIG ISSUE JAPAN』。ホームレスを支援する雑誌だ。この雑誌を一冊(200円)売ると、半分が自分の収入になる。販売員(ホームレスの人)たちは早朝から雑誌を仕入れ、顔写真入りの身分証明書を身につけて、一日中立ちっぱなしで販売する。売上を伸ばすためにミーティングも行い、販売担当エリアの情報交換を行う。今日一日の生活がかかっている、みんな真剣だ。元はそば職人で店を構えていた人、一流ホテルのシェフ、溶接工…それぞれの人に人生のドラマがあり、もう一度立ち上がろうとこの「ビッグイシュー」に賭ける人たちの姿がさわやかに描かれている。「ホームレス・サッカー・ワールドカップ」のリポートは特に楽しい。巻末にはビッグイシューの販売エリア(大阪・神戸・京都など)も掲載されている。(I)

## ふくろうゼミナール

童話の王様 アンデルセン編



アンデルセンに関するクイズです。

答えは次のページにあります。チャレンジしてみてね!!

世界中の人々から、愛読されている童話作家のハンス・クリスチャン・アンデルセンがデンマーク、フューン島の旧都オーデンセに生まれて今年で200年を迎えました。「人魚姫」「みにくいアヒルの子」「マッチ売りの少女」などの代表作には誰しもが胸をしめつけられたのではないのでしょうか。アンデルセンは童話の他にも、ヨーロッパ各地を訪れた紀行記や詩集・劇話を書き残しています。また、切り絵や風景画などの作品も数多く残っていて芸術家の一面もみせています。アンデルセンは自伝の冒頭で「私の生涯は波瀾に富んだ幸福な一生であった。それはさながら一編の美しい物語である」とかきしるしています。そんなアンデルセンの世界を今一度、訪ねてみてはいかがでしょうか。

アンデルセンの童話作品はどれくらいあるのでしょうか

1ー約40話 2ー約80話 3ー約120話 4ー約160話

「雪の女王」に登場する少年カイの目の中に入った物は

1ーバラの露 2ーツララのかげら 3ー鏡のかげら 4ー雪の結晶

「すずのへいたい」で、へいたいさんが恋をするのは

1ー妖精 2ーおひめ様 3ー紙の踊り子 4ーゆび人形

アンデルセンとの出会いを切望していた作曲家は

1ーバッハ 2ーメンデルスゾーン 3ーシューベルト 4ーショパン

出世作となった「即興詩人」を訳した明治時代の文豪は

1ー森鷗外 2ー夏目漱石 3ー泉鏡花 4ー島崎藤村



# トピックス



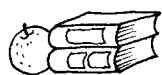
## ◆点字図書の寄贈

中町中学校3年、石塚さん・遠藤さん・新地さんの3名が総合学習の時間で作成した、絵本『土のふえ』（今西祐行・作 沢田としき・絵 岩崎書店）の点字本を図書館に寄贈してくれました。表紙のイラストも自分たちで書いてあり、やさしい本に仕上がっています。（本は参考図書コーナーに置いてあります。）



## ◆スタンプラリー

今年も夏休み期間中スタンプラリーを実施します。ぜひ、参加してみてください。



◆5万人を超える  
6月10日、図書館の利用者数が5万人を超えました。  
記念すべき5万人目の利用者は中町中安田の小西素子さん。館長から記念品が手渡されました。



## 表紙のひと：今中信一さん

中町出身、1966年生まれ。シカゴ美術館附属美術大学卒業。帰国後、英会話講師、翻訳、デザイン等の職業を経て、2000年、イラストレーターとしての活動を開始。  
このたび宮本亜門さんと共に『あっ！ ぼくがさがしていたものは』を出版される。



## 【サーポート・ねっと】未使用図書を掘り起こす

「思ったより借りられていない本がありますね」「人に薦める前に、私が読まなありません」  
さる5月26日（木）、【サーポート・ねっと】掘り起こし隊は未使用図書の発掘にあたりました。あらためてその存在を認識することとなりました。  
この日8名が参加しました。約1時間、館内の図書をみて回りましたが、とても回りきれません。限られた資料しか目を通していませんが、それぞれが3冊持ち寄りました。そして簡単な推薦メッセージを添付しました。  
こうして6月には、テーマ図書として30冊近くがコーナーに並び、いざ蓋を開けてみると、コメント効果か、書架に空きが目立つ盛況ぶりでした。  
図書館ボランティアについては、図書館にお問い合わせ下さい。



## ふくろうのウインク



図書館の周りはすっかり水田になり、雨ともなると蛙の大合唱。図書館へ「おいでおいで」と聞こえるのは、なんと都合のいい耳でしょう。  
4月下旬、浜坂町の図書館から視察にきました。ボランティアの方も一緒に、こちらの様子をお話したり先方の事情を伺ったり、有意義な一時でした。6月上旬には、早くも5万人目の来館者をお迎えすることができ、嬉しい限りです。一体どなたかと、職員もどきどきわくわくの一日でした。  
ともすれば、せかせかと動いてばかりの毎日。立ち止まる余裕が必要と、ふと思う今日この頃。雨の日は、本の中に広がるヨーロッパの町並みや、アラスカの自然を眺めてみる、などというのはいかがでしょう。気持ちにゆとりがでると、道渡る蛙を待つてやろかなと思ってみます。（Ｔ）



# 図書館だより

発行

中町図書館

〒679-1133 多可郡中町糺屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<http://www.library.naka.hyogo.jp/>



## 「本と私」

館長 片岡 政子

「ひとり燈火のもとに文をひろげて見ぬ。世の人を友とする  
ぞ、こよのう慰むわざなる」『徒然草』より。読書の楽しみを  
兼好法師は「見ぬ世の人を友とする」事だと書いています。今、  
私たちのまわりには、さまざまなエンターテインメントがあり、楽  
しみは枚挙にいとまがないが読書にはそれらにない特徴があり  
ます。本を開けば一瞬にして未知の場所、未知の人間、未知の物  
語の世界へと入っていきけるのですから。小説などの場合、登場  
人物の生き方、考え方からこういう生き方、考え方もあるのだと、  
時には悲しくなったり、嬉しくなったり色々な発見、気づきがい  
っぱいあり人を思いやる気持ち、傷ついた気持ちを癒すすべも、  
また苦しみや悲しみや喜びをずばり言い表す言葉に出会うのも  
本です。一冊読み終えるまで眠れぬ夜もあります。

また、この頃では三才になった孫と絵本を通し、楽しむ時間が  
多くなりました。孫も絵本が大好きで、生後四か月のころより絵  
本の読み聞かせを始めましたが、目を輝かせ絵本に見入り、その  
反応が嬉しく読み手の私も力が入ったものです。この頃では図書  
館から借りてくる本を喜び、私の顔を見ると「この本よんで」と  
お気に入りの本を出してきます。ごっこ遊びの中でもお話の登場  
人物になりきり、色々とおしゃべりしながら遊んでいます。そ  
の言葉使いにも絵本の影響が多く感じられ、娘と顔を見合わせる  
こともしばしば。これからの絵本がもたらす楽しい時間を孫と  
ともに大切に、育てていきたいと思っています。

十月二十七日から読書週間がはじまります。読書は人間の弱さ  
や強さを学び、生きることの意味を知り、心の糧を得る事が出来  
る最高の「メディア」です。秋の夜長、図書館でお好みの本を見  
つけ楽しみませんか。きっと新しい自分を発見できるのではない  
でしょうか。

## 「本を読んでる君が好き」

2005年「読書週間」に選ばれた標語

# なんでも質問箱



図書館ボランティアに興味があるのですが、どんな活動をされているのですか？



現在28名の方に登録していただいています。本の返却や書架整頓などを行う資料提供部門、館内外の飾りつけをおこなう環境美化部門、本の読みきかせなどをおこなう児童サービス部門、高齢者宅に本を届けたり、案内を配布する福祉サービス部門、行事やボランティア通信などの広報を担当する広報・啓発部門の5つの部門から成り立っています。ボランティアの活動については図書館だよりの最後のページやホームページ上でも掲載しています。興味のある方はぜひ、ご参加ください。

もう古い本なので、本屋さんへ行っても手に入らないといわれました。図書館にもないようなのですか？



このように本が絶版等になっていて入手が困難な場合や専門的な内容で、館内の資料では満足のない本をご用意できない場合。こんな時に図書館の間で本を貸し借りする相互貸借というシステムがあります。また、最近ではインターネットが普及し他の図書館の蔵書が簡単に調べられるようになりましたが、遠すぎて自分では借りにいけない場合。近隣の図書館はもちろん県立図書館、他府県の図書館からも借りられます。見つからない場合もあきらめずご相談ください。

私は旅行が好きなのですが、そういった趣味の本もあるのですか？



図書館は学生が勉強するところというイメージがあるかもしれませんが、しかし、様々な人の知りたいという欲求を充たす場所でもあります。文芸書だけでなく料理、パソコン、インターネット、病気に関する本、年金、育児など生活に密着した本もたくさん所蔵しています。もちろん旅行ガイドも温泉からデイズニールランドなどの娯楽施設までさまざまあります。また、国内にとどまらず海外もあります。俳句や短歌、将棋・囲碁・釣り、などは図書だけでなく雑誌もあります。

まだ一度も図書館を利用したことがありません。初めての場合どのような手続きがいるのですか？



町内または北播磨・東播磨にお住まいの方、中町内にお勤めの方ならどなたでも無料で利用できます。本をお借りになる場合はまず、利用カードを作成します。図書館に置いてある申込用紙に記入の上カウンターへお出しください。すぐにお作りします。その際、お名前・ご住所等の確認できる免許証や保険証等をご持参下さい。また、図書館へ来たくても高齢等の理由で利用できない方には宅配サービスもいたします。詳しくは図書館までお問い合わせください。

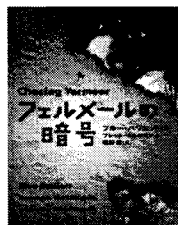
『幸福な食卓』 瀬尾まいこ／著 講談社 (Fセオ)



中原家の朝ご飯は全員がそろって食べる。どんな時でもみんなで食卓を囲む。これが家族のスタイルだった。その席で突然、「父さん今日で父さんを辞めようと思う」。その父の言葉に衝撃を受けながらも1日が始まる。

父が過去におこした事件が、のん気にみえる兄、生活を別にする母、そして佐和子、それぞれの内面に大きな影響を与えていた。家族はそれぞれのライフスタイルを持ちながらも家族を互いに気遣っている。何気ない日常の中で、それぞれが少しずつ成長していく姿が描かれています。(Y)

『フェルメールの暗号』 ブルー・バリエット／著 評論社 (K933ハ)



ヤングアダルト向けのミステリー。暗号とパズルの好きなコールダー、本好きペトラの2人が、盗まれたフェルメールの絵の謎解きに挑む。話の発端は3人に届けられた差出人不明の不可解な手紙、手紙を受け取った人物も読者には明かされない。ストーリーへの興味をそそられると同時に、フェルメールという画家への興味も高まって行く。コールダーが好きなパズル、“ペントミノ”もなかなかおもしろそう。(見本に付いている葉は、後の人のために切らないで下さいね。裏は暗号文の解読表になっています。)挿絵にもメッセージが隠されているという、なかなか凝った1冊。

フェルメールに興味を持たれた方は『謎解きフェルメール』『真珠の耳飾りの少女』などもどうぞ。「おはなし名画シリーズ」は子どもから大人まで楽しめる絵本画集で17巻が『フェルメールとレンブラント』になっています。(T)

『おいしいきのこ料理』 上村素子／著 新星出版 (596.3カ)



「きのこ」は秋の味覚のひとつ。きのこ狩りを楽しんで自分で採ったものを味わうというのはちょっと不安のある方に、大丈夫です！市販のきのこでも十分楽しめる、バラエティーに富んだ種類のきのここと豊富なメニューがこの本には紹介されています。最近注目の「山伏たけ」や三大高級珍味のトリュフに似た香りがするという「トランペット」の料理も掲載。食卓にも秋の風が吹くことでしょう。(I)

ふくろうゼミナール



「今昔物語」や「宇治拾遺物語」などを題材にした歴史・王朝物をはじめ、数多くの短編小説を書いた芥川龍之介は、明治25年3月1日に東京で生まれました。龍之介と命名されたのは、この日が辰年辰日辰時にあたるからだそうです。作家として文壇に進むきっかけは、夏目漱石が小説「鼻」を絶賛したことによると言われています。昭和25年に黒澤明監督により「羅生門」として映画化された「藪の中」をはじめ「蜘蛛の糸」・「杜子春」などの代表作で知られるように、芥川龍之介は人間の真理を問い掛けた作品を送り出しています。今では、親交のあった菊池寛により昭和10年に創設された「芥川賞」(新進作家による純文学の登竜門)の方が本人の作品よりも注目を集めているかも知れませんが、「芥川賞」は今年上半期で133回を迎え、受賞作家は138名にも登ります。秋の夜長に読む1冊として歴代受賞作品や芥川龍之介本人の作品を手にとってみてはいかがでしょうか。

大正時代の代表作家 芥川龍之介編

芥川龍之介&芥川賞関連のクイズです。チャレンジしてみてね！  
答えは次のページに...

芥川龍之介の作品はどれくらいあるのでしょうか

1ー約80話 2ー約120話 3ー約160話 4ー約180話

「蜘蛛の糸」でお釈迦様が思い出された罪人の善い行いは

1ーカエルを助けた 2ークモを助けた  
3ーヘビを助けた 4ーアリを助けた

純文学を対象にしている「芥川賞」を受賞した意外な作家は

1ー森村誠一 2ー横溝正史 3ー松本清張 4ー山村美沙

「芥川賞」の副賞は100万円ですが、正賞は

1ー懐中時計 2ー万年筆 3ー西陣帯 4ーブロンズ像

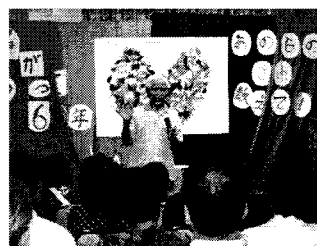
「芥川賞」の最年少受賞者となった女流作家は

1ー柳美里(家族シネマ) 2ー大道珠貴(しょっぱいドライブ)  
3ー金原ひとみ(蛇にピアス) 4ー綿矢りさ(蹴りたい背中)

# トピックス

## スタンプリリー

図書館員が選んだ本（それぞれ部門二十冊）の中から好きな本五冊を選んでクイズに答えてもらいました。クイズを通じて本を読む楽しさを知ってもらおうと、そして、図書館員と子どもたちのふれあいの場を目的として、昨年度から実施しています。今年は一・二年生四十二名、三・四年生十五名、五・六年生十五名、計七十二名の子どもたちが参加してくれました。中には五冊だけでなく二十冊すべての問題に答えてくれる子どももいました。



戦争が終わって六十年  
—あの日のこと教えて—

終戦六十年を迎えるにあたり八月四日、サポーター・ねつとと協力し「あの日のこと教えて」と題して、今一度戦争について考える場を持ちました。語り部として町内在住の橋本喬雄氏、神戸新聞西脇支局長の小西隆久氏をお招きして被爆体験談などを語っていただきました。会場には約七十名の方がお越しになり話に耳を傾けられました。途中、涙ぐまれる方もいらつしやいました。その他、中町広報担当者より企画記事（8月号）への思いやおはなしグループによる朗読『まちゃんと』ちいちゃんのかげおくり』が行われました。

“ふくちゃん”に愛称が決定!!

応募総数百十五の中から図書館協議会で協議したところ、ふくろうの愛称が「ふくちゃん」に決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。



絵本と出会う夢いっぱい  
事業・子育てフェスティバル

七月三十一日、バルーンアート・絵本の抽選会・おはなし会・ハンドベル・図書館を飾ろう! などさまざまなイベントが行われました。



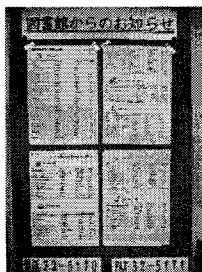
「サポーター・ねつと」本の宅配サービスが始まる

この夏は絵本作家の原画展が近場に集中して開かれました。この機会を逃すことはない、おはなし会の企画で、八月二十三日、田島征彦、佐藤忠良、荒井良二の三人の原画展めぐりを京都、滋賀で実施しました。福祉サービス部会が、社会福祉協議会と連携して、図書館まで足を運べない高齢者を対象に本の宅配サービス、九月から開始しました。全ての人に図書館サービスをめざしていますが、まだまだ試行錯誤のくりかえしです。今回は社会福祉協議会のご理解を得て、毎月新刊ニュースを届けることになりました。

また日赤、思い出荘など八か所に、新刊ニュースの掲示板を設置、福祉サービス部会が毎月更新します。

【サポーター・ねつと】では、

暮らしに役立つ図書館づくりにあの手この手で支援していきます。図書館ボランティアに關しては、館にお問い合わせください。



## ふくろうのウインク



読書の秋到来! ところが、夏休みのご利用が多かったせいもあるのか、昨年度は意外に秋のご利用が少なく思われました。気候が好くなり運動会や行楽に格好の時期、また農繁期でもあり、みなさんあれこれ楽しく忙しくお過ごしかなと思つたものです。今年度は、嬉しいことに全体的に昨年度より利用が増えていきます。自分のライフスタイルに合わせて、スーパリーに買い物に行くように、当たり前前の生活の一コマに図書館を加えていただく。そんな使い方をしていただけだと思います。(下)

# 図書館だより

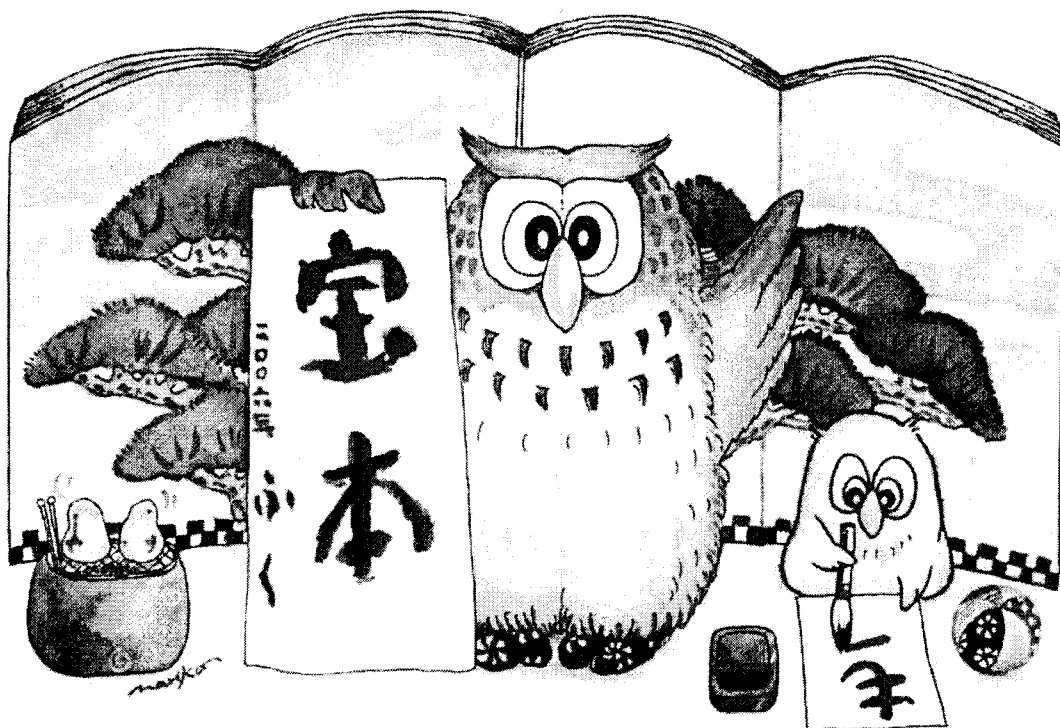
発行  
多可町図書館

〒679-1133 多可郡多可町中区糺屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<http://www.library.taka.hyogo.jp/>



## 「図書館に行ってみよう!」

館長 吉田 一四

あけましておめでとうございます。

十一月一日の多可町誕生で、図書館への配属となりました。片岡前館長を始め、図書館職員のご努力で新生図書館として軌道に乗り始めた矢先の異動となり、新館長として重責を感じているところです。住民皆様に愛される図書館を目指して精一杯努力して参ります。よろしくお願いいたします。

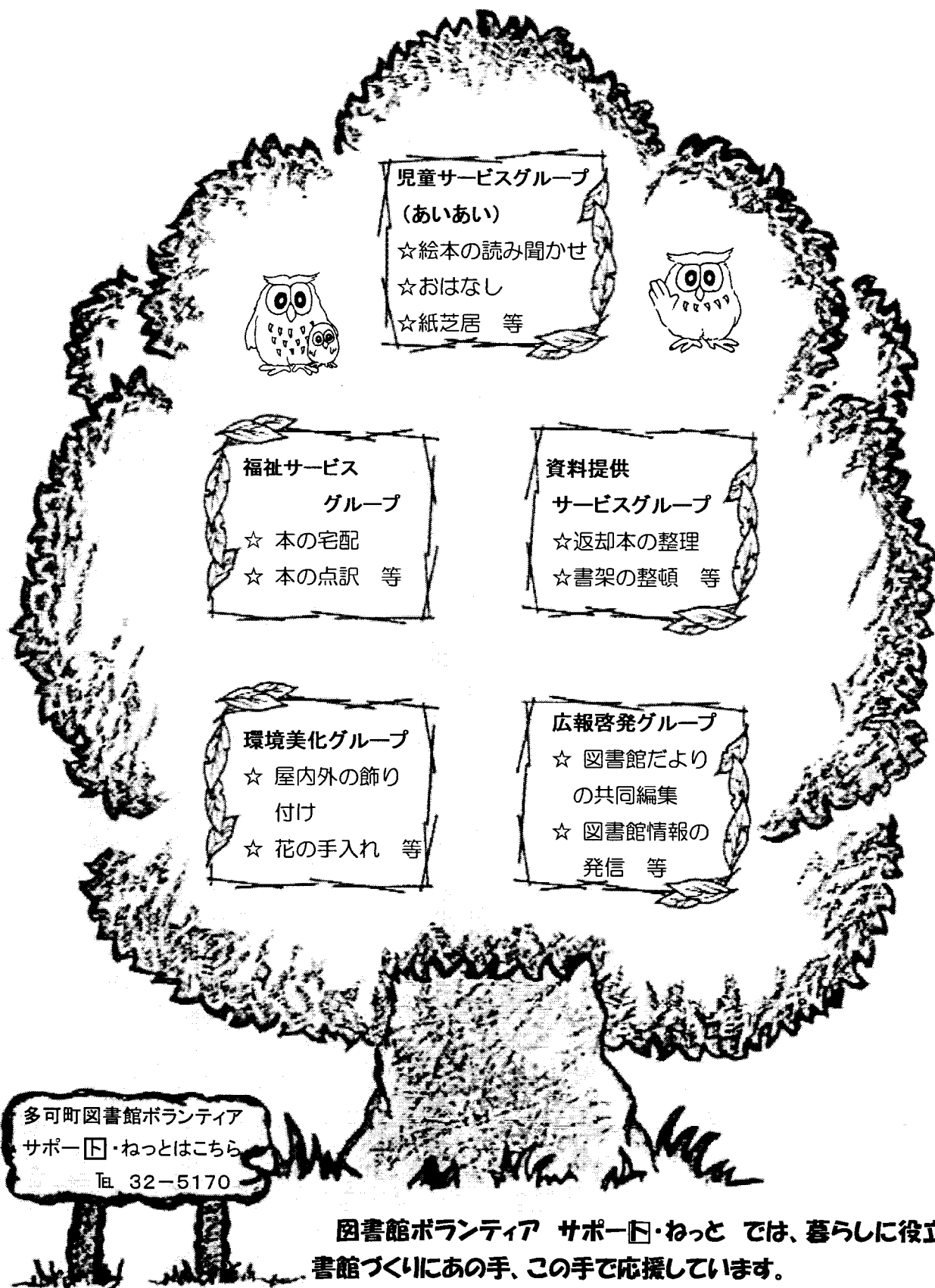
ほ場整備に上下水道、情報通信網等のインフラ整備しか経験のない私が、司書の方や図書館ボランティア「サポート・ねっと」のメンバーに助けて頂きながら一か月が過ぎようとしています。この間、図書館の住民ニーズの高さを、平日で一五〇人土日は三五〇人近くのお客様さまで実感しております。そして直接お客さまに接するサービスとして、自分自身と公務員のあり方を学ぶ貴重な機会となっております。

さて「図書館の仕事は本の貸出」と思っていました、ところが、実際は非常に奥が深く、多彩な面をもっていることに驚いております。まず、合併協議の中でも話題になっておりました、若者定住のための子育て環境の充実に、親子が一緒に絵本と共にゆっくり過ごせる場所として一役買っています。また、小・中学生の利用も多く、本が好きで自ら学ぼうとする子どもたちが集まっています。このような読書を通じた教育環境の充実により、子育てや若者の定住促進に役に立つことが出来るような気がします。

その他にも、生涯学習の拠点施設として、中高年の方の利用も多いです。地域の情報の集積拠点としても、郷土に関する新聞記事のスクラップや郷土史等も準備されております。

とにかく「図書館へ行ってみよう!」と住民の皆様にとって頂けるような多彩な図書館になっております。ぜひご来館ください。

# 多可町図書館ボランティアに参加しませんか？



図書館ボランティア サポー<sup>ト</sup>・ねっと では、暮らしに役立つ図書館づくりにあの手、この手で応援しています。

**本のこと、図書館のこと好きな人 集まれ！！**

詳しくは、図書館までお問い合わせください。

『信長の棺』 加藤 廣／著 日本経済新聞社 (Fカト)



“ときはいま あめがしたしる さつきかな” これは明智光秀の詠んだ句である。この愛宕権現連歌会の数日後、本能寺の変が起きた。しかし、その焼け跡から信長や蘭丸など小姓ら数人の遺骸は発見されなかった。生前、信長から木箱を預かった太田牛一。その彼が『信長公記』を完成させるべく過去をたどっていくと、桶狭間の合戦や秀吉の中国大返しなど様々な疑惑が浮上する。そして、本能寺の変から16年、牛一が丹波の地を訪れたことを機に少しずつ謎が解明されていく。

残虐なイメージのある信長ですが、安土城構築の謎が明らかにされるとまた違った印象を受けます。信長の遺骨の行方も気になりますが、秀吉はじめ様々な人々の思惑など歴史の表舞台からだけでは見えない部分も描かれています。(け)

『重曹+アロマでナチュラルハウスキーピング』 塩屋紹子／著 河出書房新社 (597 ナ)



キッチンからお風呂まで、安心素材でカンタンお手入れ！この本では、重曹・ビネガー・せっけんを使ったおそうじ法を紹介しています。重曹、アロマテラピーは最近注目をあつめています。年末の大掃除で“普段から少しでもやっておけばよかった・・・”と思った人は多いはず。ナチュラルな素材だけで、香りを楽しみながら、心にも体にも環境にもやさしいおそうじ、さっそく始めてみませんか。(た)

『いたずらでんしゃ』 ハーディー・グラマトキー／作 学習研究社 (K933 ク)



スパークーは、陽気な小さな電車。毎日、町の真ん中の広場と町はずれの遊園地の間を10回以上往復します。よく動き、町になくってはならぬ乗り物なのですが、困ったことに空想好き。走りながらいろんなことを考えます。おかげで、交差点の真ん中で腰を抜かしたり、市長さんの車にぶつかったり……。とうとう、電車をやめて立ち食い食堂にされることになります。

スパークーと一緒に楽しんだり、はらはらどきどきしながら、最後にはよかったねと安心できる物語です。(み)

ふくちゃんゼミナール



親子二代にわたって愛される絵本

ぐりとぐら編



♪あるこう あるこう わたしは元気♪で始まる「となりのトトロ」の主題歌“さんぽ”の作詞家・中川李枝子さんが月刊絵本「こどものとも」に“たまご”の題で昭和38年に発表されたのが「ぐりとぐら」の始まりです。中川さんは15年の間、保育士として子どもたちと身近に向き合ってきた経験があるからこそ、子どもの心をつかみ動かせる絵本を創り出せたのでしょう。

「ぐりとぐらのおきやくさま」「ぐりとぐらのかいすいよく」「ぐりとぐらのえんそく」など「ぐりとぐら」シリーズは2匹の野ねずみが色々な体験をしていくストーリーですが、この愛くるしい野ねずみたちを描いているのは実妹の山脇百合子さんです。「ぐりとぐら」は昭和42年に英語に翻訳されて以来、韓国語・中国語・デンマーク語など9か国で出版され海外の大人や子どもたちにも愛し続けられている絵本です。

「ぐりとぐら」のクイズです。チャレンジしてみてね！答えは次のページに…

第一作「ぐりとぐら」で大きなタマゴを割ってつくるのは  
1ーホットケーキ 2ーマフィン 3ーカステラ 4ーチーズケーキ

「ぐりとぐら」の名前は外国の絵本からヒントを得ています。その国は

1ーオランダ 2ーカンボジア 3ーフランス 4ータイ

青い服を着た“ぐり”と赤い服を着た“ぐら”の関係は  
1ー幼なじみ 2ー兄弟 3ー姉妹 4ー男の双子

「ぐりとぐらのかいすいよく」で着ている水着のもようは  
1ーたてじま 2ーよこじま 3ー水玉 4ー星がた

中川李枝子さん山脇百合子さんコンビでの初めての作品は  
1ーたんたのたんけん 2ーそらいろのたね  
3ーいやいやえん 4ー三つ子のこぶた

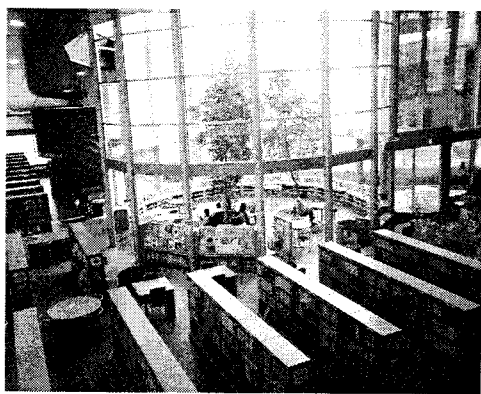


# トピックス

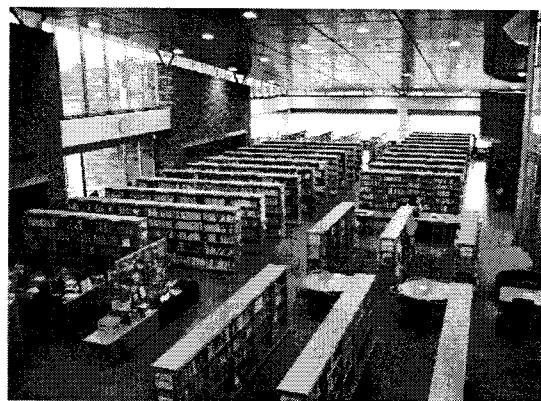
## 斐川町立図書館（島根県） に行ってきました。

十一月二十九日（火）、島根県の斐川町立図書館にサポート・ねつとの皆さんと視察見学をしてきました。

斐川町は、島根県宍道湖の近くにあり、人口はおよそ二八〇〇〇人の町です。この図書館は平成一五年に開館され、全国的にも高い評価を受けています。



陽が差し込む雑誌新聞コーナー（中央）



2階から見た一般書の書架

中でも、開館までのプロセスや建築、サービス実績が評価され、第二一回日本図書館協会建築賞を受賞されています。

斐川町立図書館の蔵書数は、およそ十一万五千冊を数え、一日におよそ六百冊が貸し出しされています。到着すると、まず白根館長から図書館ができるまでの話を聞き、館内を案内していただきました。その後、斐川町立図書館のボランティアの方との交流会をもち、それぞれの活動内容等の意見交換をしました。

また、館内には、ボランティアの方が運営されている喫茶コーナーもあり、町民の集う場としての図書館の重要性を感じた一日でした。

斐川町立図書館については多可町図書館にある「町立図書館をつくった！」をお読みください。



### 貸出二十万冊突破！

オープンして十一か月後の昨年二月上旬、貸出冊数が十萬冊を越えました。それから八か月余りの十月下旬、なんと貸出二十万冊を突破しました。最初より二か月も短い期間に十萬冊ご利用いただいたています。職員一同、嬉しい限り。つい、三十万冊は何か月後？などと考えてしまいます。



### 今月のおすすめコーナーって？

図書館の玄関を入ってすぐに目に入ってくるのが、おすすめコーナーです。みなさんご存知でしたか？月ごとに季節や時候に合わせた図書を皆さんの目の届きやすいところに配置しています。ぜひ、一度手にとってみてください。

これまでのおすすめコーナーの特集を紹介します。

- 四月 アンデルセン ― 生誕二〇〇年 ―
- 五月 スキルアップ（ビジネス支援）
- 六月 掘り起こし隊 ― 発掘した未使用図書 ―
- 七月 課題図書・スタンプラリー
- 八月 敬老の日読書のすすめ
- 九月 芥川賞受賞作品
- 一〇月 映画特集
- 十一月 年末年始特集 ― 年賀状・掃除・おせち ―
- 十二月

### ふくちゃんのウイंक



昨年は秋仕舞いまで暖かかったせい、今冬の寒さがぐつとこたえます。休日には、普段ほったらかしのいろいろなことがあるのですが、コタツの誘惑もなかなかのもの。そこへ急げ心が応援団を結成し、読みかけの本が「いつになつたら終わるねん」と文句を言い・・・薄暗がりには活字が見にくくなって気が付く。「あつ、夕飯の用意！」

本だけでなく、図書館の魅力ってたいしたものだ。斐川町の図書館を見て実感しました。ぜひ、そう在りたいものです。（み）